

# 骨粗鬆症 & 骨密度測定装置（DXA 法）について

## ◎ 骨粗鬆症とは？

骨の密度が低下して折れやすくなる病気です。骨は“代謝によっていつでも新しい状態を維持”していますが、女性は閉経後に女性ホルモンが減少すると、“古い骨を溶かす量が増加するため”骨粗鬆症になりやすいことがわかっています。

## ◎ 骨密度測定とは？

“骨の量そのもの”を測定したもので、現在の骨の強さを確認することができます。若い人の平均と比べて70%以下だと『骨粗鬆症』と診断され、治療が必要になります。

## ◎ 骨密度測定装置（DXA 法）とは？

この検査は、エックス線を照射して骨密度を測定する方法です。被ばく量はレントゲン等と比べて少なく、迅速かつ精度の高い測定ができ、骨密度測定の標準とされています。

## ◎ 当院では腰椎と大腿骨頸部（足の付け根の部分）を測定します

腰椎と大腿骨頸部は骨折しやすい部位であり、この2か所を測定することで他の部位の骨折リスクも評価することができます。検査時間は5～10分程度で、痛みもなく、寝ているだけの検査です。



## ◎ 検査結果は後日患者さんにお渡ししています

専用の結果用紙と結果用紙の見方をお渡しします。結果には同検査履歴も表示されるため、定期的に検査を受けることで前回との比較や今後の予測などの評価ができます。

## ◎ 骨粗鬆症の治療

運動療法や食事療法に加えて薬物療法が必要になります。まずは自分の骨の状態を調べ、必要に応じて治療を受け、“骨折のない楽しい毎日”を送れるようにしましょう。